

昌子の広場 第33報



2004年5月号

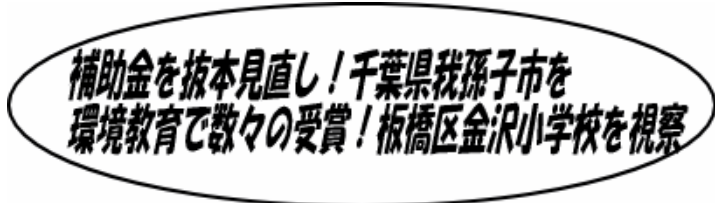
和泉市無所属市民派議員
小林昌子
和泉市緑ヶ丘2-13-10
自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626
事務所 Tel(Fax) 0725-53-4451
Email masakob@yahoo.co.jp
http://masako-hiroba.info/



ホームページもご覧下さい
yahoo の小林昌子で検索出来ます。
<この会報は再生紙を使用しています>

目次

・総務文教委員会行政視察	P1-2
・和泉府中踏切事故のその後	P3
・榎尾川ダム反対ビデオ上映会、政務調査費	P3
・住基ネット、昌子の広場	P4



総務文教委員会行政視察

千葉県我孫子市の補助金行政



千葉県我孫子市は茨城県に隣接する人口13万人強の市です。

昨夏の自治体学会の分科会で我孫子市のユニークな補助金制度を知りました。今回総務文教委員会として視察を行いました。

我孫子市は都心から40分というベッドタウンで和泉

市同様近隣市と合併せず、この規模で今後まちづくりを行っていくとの事です。我孫子市では平成12年度より、市が交付する全ての補助金に「公募制度」と「第三者機関による審査」を導入しています。財政の見直しから始まった補助金制度の改革を進める中で、市民活動に交付される補助金の意味や、市民協働の意味についても検討が行われた結果、我孫子市では補助金を「市民活動の自立を支援するためのもの」と明確に位置づけるに至りました。

まずゼロからスタート 市長の鶴の一声で

補助金見直しは昭和61年からの第一次行政改革でスタートしました。しかし実際に廃止されたものはなく、市民活動の高まりと共に補助金の要望が増加していました。

既得権があって補助金をもらっている団



体はずっともらい続け、一方で新しい活動を始めた団体は補助金を受け取るのが難しい。

そのような中でH6年度からの第二次行政改革の中で、既得権化した補助金の廃止は困難という状況の中で市長の「全ての補助金を一旦白紙に戻して、本当に必要な事業に補助金を出す仕組みにしよう」という方針が出されました。

その結果平成12年度から「公募制」と「第三者機関による審査」の導入が実現しました。

公募の対象となる事業は市民福祉の向上及び市民の利益につながり、公益上の必要性が認められるものです。

交付期間は1～3年で3年ごとに見直しが行われます。補助金は申請しないと貰えない仕組みを導入したのです。

審査員は実質ボランティア 膨大な資料と奮闘

第三者機関として補助金等検討委員会が設置され委員は5人で任期は3年。公募はせず会計検査院OB、行政書士、大学教授2名、他市の元総務部長で男女比は半数程度です。

報酬は一日6,500円で3回程度委員会を開催するが、高さ50cmにもものぼる資料があり、持ち帰って処理するので実際はボランティア活動に近いものになっているそうです。

独自の審査基準で定量的に評価

委員会は独自に「審査判定基準」を作成し、時代に合っているか、実現の可能性は、創造性は、我孫子らしさはの4項目について審査を行い、委員各自の採点結果を集計し、全員協議でランク付けを行い市長に提言しています。

ランク付けが低く、採用されなかった事業も公開ヒアリングで復活の道も作っています。

補助金削減より業務の見直しと適正配分

我孫子市は市民活動が盛んな町で市民公益活動団体は290団体あり、この制度導入により補助金総額は大きくは減少しなかったが、そもそもこの制度は補助金を削減する事が目的ではなく、行政改革の一環として、業務を見直し、支出を適正化することが目的となっています。

例えば各所管課が事務局機能を持っていた団体等は一切職員の関わりを廃止しました。

自立に向けたサポート体制

自立に向けたサポート体制として、年4回開催のレベルアップセミナーや市民活動フェアがあります。

予算の総枠は決めず、その年度の市民公募の状況により変動します。活動分野の偏りなど一切調整せず、勿論行政の意向を伺うことなく5人の委員の提言によって決定します。

しかし最終決定は市長が行うのでそのところで市の意志が入る余地は残されています。

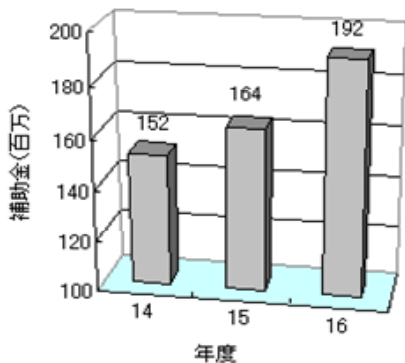
何れにしてもおんぶにだっこの補助金ではなく、団体の自立に向けてのサポート体制がユニークでした。

容易に進まない補助金改革 システムとして改革

既得権化した補助金制度の改革は、選挙の組織票への影響や、財政改革の安易な方策として実行される懸念から、なかなか進まないのが現状です。

私は形骸化した補助金の典型である「納税貯蓄組合への補助金」の削減に取り組みこれを実現しましたが、これはあくまで個々の補助金の見直しであり、これを制度として定着できるシステム、例えば補助事業の申告制、評価機関の設置等を、早急に整備する必要があると考えます。今後もこのテーマについて努力していきます。

和泉市補助金推移



補助金は増加
厳しい財政事情に拘わらず

東京都板橋区立金沢小学校を訪問

環境教育で数々の受賞をしている金沢小学校を訪問しました。正門を入ると緑が濃くなった葉桜が歓迎してくれました。又少し奥に行くとケヤキ並木が美しい若葉を輝かせていました。板橋区は昭和63年から「学校の森」事業を実施し、現在80



第2回朝日のびのび教育賞
受賞記念の本(事務所に備え付けてあります)

の中小学校の内28校に整備されています。昭和63年から整備の始まった金沢小学校には現在80種2000本の木が植えられ、さまざまな面で子ども達との関わりが持たれています。

学年の木を決め、人との交流も大切に

森が持つ豊かさに気づいた平成7年度から、身近な環境を生かした学習を通して、心豊かな児童を育てようという取り組みが開始されました。学年の木を2本決め(1年生はビワとイチヨウ、2年生はヒメリンゴとスモモ、3年生はサントローゼとサルスベリ、4年生はサクラとアンズ、5年生はポプラとキウイ、6年生はウメとカキ)木の名前を覚えるために「ラップ オブ 金沢」を作り、唄いながら木の名前を覚えていったそうです。

樹木を通しての自然との関わりは勿論、人との関わりも大事な視点として位置づけられ、各学年の総合的な学習の時間に組み込まれています。

例えば1年生は保育園児との交流、2年生は町会のお年寄りとの交流、3年生は近くの老人福祉施設を訪問し、4年生はお年寄りを学校にお招きするといったあんばいです。

「豊ゆずり集会」で思いをバトンタッチ

各学年が一年間大事にしていた品々と、取り組みの中から得る事が出来た知識や経験を次の学年に伝えていくための行事を「豊ゆずり集会」でバトンタッチしていきます。

卒業記念の森に植えられた梅が学年の木になっている6年生はジュースやジャムは勿論、梅干し作りの秘伝も伝授するそうです。私たちが訪れた時はひときわ美しい若葉のケヤキ並木ですが、秋には落葉しその量は生半可なものではないそうです。しかし金沢小学校ではこの落ち葉さえ堆肥化し自校での利用は勿論、桜祭りで市民の方々に配布されています。

これだけの緑を管理していくためには当然地域やPTAの力が必要で「おやじの会」や「金沢クラブ」も力を発揮しているとの事でした。

母校を誇らしく思う卒業生

白木信子校長先生の説明を受けている間も、小鳥のさえずりや風にそよぐ緑の梢が優しく豊かな空間を作っていました。

HPへの書き込みでは母校を誇らしく思うメールや、卒業して改めて豊かな環境で過ごせた小学校生活を懐かしく思う投稿など、卒業生にとっても印象深い学校の森です。



この金沢小学校を羨ましく思うだけでなく、和泉の地でも第二の金沢小学校が出来ないものかと感じました。

ビオトープでの観察



和泉府中踏切事故の小学生元気に！

府中駅近くの踏切で、横断中に列車に接触し、重傷となって心配されていましたが小学生が驚異的に回復し、元気に新学期を迎えています。小学生の生命力に驚かせられると共に、何よりと心から安堵しました。



子ども達の通学時の安全対策の推進を議会で質問していた時に起こった事故で、その後の状況を気にかけていました。

再びこのような事故が起きないよう、今後も力を入れていきたいと思えます。

お母様からご寄稿頂きました。

「2月3日の朝、JRの踏切で電車に接触して重傷を負い意識不明の重体」何度も繰り返されるニュース。新聞に載ったわが子の名前、突然の出来事で悪夢のような日々。元気に「ってきます」と出て行った我が子がICUの中で体にたくさんの管をつけて眠っていました。

命の心配、もう一度起きてくれるかの不安で押しつぶされてしまいそうでした。その中医師、看護師の方々による適切な治療で耕平は奇跡のような回復をしてくれました。

現在、耕平は無事に2年生になり、元気に笑って、歩き、話をしてくれ、時には弟と喧嘩もしています。毎日楽しく学校へ通っています。

今まで普通に当たり前だった事全てがうれしくて幸せで。耕平が私にくれた大きなプレゼントなのだと思います。命の尊さ、素晴らしさ、人の優しさを教えてくれました。

事故直後、耕平を病院に運んで下さった方々、応急処置をして下さった病院のスタッフ。ひばり幼稚園の保護者の方々、国府小学校の方々、いろいろな人々の祈りが私たちに力を与えてくれました。たくさん頂いた千羽鶴、こんなに綺麗で素敵なものだとは思わなかったです。一羽一羽からのメッセージは耕平にきっちり届いたように思います。数え切れないほどの暖かい心遣いをありがとうございました。

まだしばらくは病院での検診もあり心配も続きますが、きっと元気になると思います。今はまだ心の落ち着かないこともあります。この先、耕平のような事故でつらい思いをする子供が出ないように、電車だけの事故でなく車の事故がないように安全で少しでも心配のない通学路、町になるよう努力していきたいと思えます。皆が幸せでいられるように。

本当にありがとうございました。生きていることに毎日感謝しています。

深田 留美



榎尾川ダム反対ビデオ上映会(第2回)



この素晴らしい自然を破壊し、税金を無駄遣いするダム計画を見直そう！



市民の皆様ご存じでしょうか！現在榎尾川上流に治水ダムが建設されています。15年の歳月をかけ、総工費130億円のダムが進行中です。

大雨が降った時の榎尾川氾濫に備え計画されたものですが、本当にこのような巨大なダムが必要なのでしょうか？この計画にはダムの専門家も大きな疑問を示しています。

極めて厳しい財政の中で多くの福祉が切り捨てられています。このような時に税金を無駄にするだけでなく、貴重な自然を破壊するダム計画を許して良いのでしょうか。

榎尾川ダムの問題を分かりやすく市民の皆様にお伝えするためのビデオが完成しました。

長野県の田中知事もこのビデオで依然として無くならない巨大公共工事の矛盾を指摘しています。

下記によりビデオ上映会を行いますので、奮って御参加下さい。

- ・日時 平成16年5月25日(火) 14:~15:
- ・場所 小林昌子事務所
事務所 TEL(FAX) 0725-53-4451
自宅 TEL(FAX) 0725-54-2626

平成15年度政務調査費の内訳です

政務調査費は議員の政策立案のために交付されるものです。

従って、その目的に使用出来なかった場合は市に返還しなければなりません。私の平成15年度の政務調査費の使用内容は右の通りです。詳細の使途は私のHPで公開しています。又市役所でも閲覧できます。

収入		840,000
支出	研究研修費	194,210
	広報費	435,139
	資料購入費	14,290
	資料作成費	27,426
	事務所費	706,383
	調査旅費	26,250
	支出計	1,403,698
差引		-563,698

住基カードと公的個人認証のその後

昨年8月に稼働した住基ネット2時稼働後の状況を引き続き報告します。住基カード発行枚数は計画の4,500枚に対し9ヶ月経過後も153枚(3.4%)と低迷しています。さすがにこの計画達成は困難と考えたのか、前回の議会での私の質問に対し、計画を2,000枚に修正しました。

又今年稼働した公的認証システムを申請した件数は4ヶ月経過後も僅か13件に止まっています。

この住基システムに和泉市だけで14年度末まで人件費を除いて約5千万の開発費、運営費はこれも人件費を除いて年間500万円が必要となります。

誰のためのシステムなのでしょう？



	カード交付枚数	公的個人認証
H15.8	24	
H15.9	41	
H15.10	21	
H15.11	7	
H15.12	10	
H16.1	8	2
H16.2	10	4
H16.3	19	6
H16.4	13	1
計	153	13

昌子の広場

ホームレスの方への衣類提供を行っています。協力頂ける方は下記へ連絡下さい。

宜しければお家まで引き取りにお伺いします。

Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。



昌子の日記

- 4/1 和泉中央駅会報配布、えるの会
- 4/2 狭山池博物館へ
- 4/3 アンネのバラ植樹祭
- 4/4 子育てサロン、児童虐待学習会
- 4/5 茨木市長選応援
- 4/6 和泉中央駅会報配布、石尾中学校入学式
- 4/7 和泉中央駅会報配布、緑ヶ丘小学校入学式
- 4/8 茨木市長選応援、えるの会

- 4/9 茨木市長選応援、議会便り編集委員会
- 4/10 茨木市長選応援
- 4/11 万葉講座現地散策(吉野川、紀ノ川へ)
- 4/12 和泉府中駅会報配布、和泉女性100人委員会総会
- 4/13 北信太駅会報配布
- 4/14 近畿市民派議員学習会、市政相談会
- 4/15 信太山駅会報配布、小地域ネットワーク、えるの会
- 4/16 光明池駅会報配布、オアシスプラン勉強会
- 4/18 緑ヶ丘自治会総会
- 4/19 千葉県我孫子市行政視察
- 4/20 東京都板橋区金沢小学校視察
- 4/21 和泉中央駅会報配布、榎尾川ダムビデオ上映会&現地案内
- 4/22 和泉府中駅会報配布、えるの会
- 4/23 エンゼルハウス見学
- 4/24 環境くらぶ主催榎尾川環境調査
- 4/25 エスコープ大阪中期計画学習会
- 4/26 和泉中央駅会報配布
- 4/28 老健施設ザ・シーズン見学会、アイ・あいロビー環境部会、事務所運営委員会、小地域ネットワーク会議、市政相談会
- 4/30 環境くらぶ定例会

< 事務所行事 > いずれも小林昌子事務所
 連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
 事務所 TEL 0725-53-4451

万葉講座

- ・講師 大高勇さん いずれも午後2時より
- ・26回 5/8(土) 万葉の花鳥風月 花Part2
- ・27回 6/12(土) 万葉の花鳥風月 風月Part1
- ・28回 7/10(土) 万葉の花鳥風月 風月Part2

ちぎり絵講座

- ・6月9日(水) 13-16時 水ばしょう
- ・講師 西原志満子さん
- ・参加費 実費 千円程度

環境に優しい石けんを作ってみませんか

- ・6月2日(水) 13:30~15:30 参加費無料
- ・持ち物 500cc ペットボトル空容器
- 別々の容器に廃油 90cc、ビニール手袋
- ・準備の都合上参加予定の方はご連絡下さい
- ・ペットボトルを利用して少量ずつ作れます。慣れれば自分だけのハーブ石鹸等も可能です

パソコン講座(参加費無料)

- ・毎週 木、土曜日 14時から約2時間
- ・パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく、初めてこられる方はご連絡下さい

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:~21:30
- この時間帯で都合のよい時間にお越し下さい